

事務事業名	単独林道災害復旧事業(R3災)		所属部	建設部	所属課	農地整備課 (災害復興T)
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	災害復興G	
	施策名	〈35〉林業の振興		担当者名	高木 洋輔	
	目的対象	市内の森林	意図	適正に森林を整備、保全し、森林資源を活用する。		
	基本事業	〈101〉適正な森林管理		予算科目	会計：0:1550:1 款：5:50:1 大事業：大 中事業：中 小事業：小	事業名
目的対象	市内の森林	意図	適正に管理する。			令和3年単独林道災害復旧事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災箇所	被災箇所の復旧を図る
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R3 年度 ~ R6 年度 )	豪雨災害により、土砂崩壊、路肩決壊などの被災を受けた林道を原形復旧するもの。 採択申請要件として24時間雨量80mm以上であること、1箇所の工事費が原則13万円以上40万円未満であること。 起債充当率:80%(小災)、65%(一般単独)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) R3災 被災箇所確認、復旧工事51箇所	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 特になし

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア 発注率(年度末時点)	%	21	23	75	100
イ 完了箇所数(全体99箇所)	箇所	21	2	51	25
ウ 完了率(年度末時点)	%	21	23	75	100
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【R5現年(R3災)】51箇所 工事費:19,490千円 ※地方債:災害復旧債	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円	6,700	2,600	14,300
		その他	千円			
		一般財源	千円	4,399	1,348	5,190
	事業費計	千円	11,099	3,948	19,490	10,000

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	被災林道の復旧により、林道の安全性と林道利用者の利便性の維持が図られた。 R6年度以降引き続き早期復旧に努める。
② 事業実施するうえでの課題	R3災は非常に箇所数が多く、復旧も複数年度にわたる見込みであるが、近接箇所は一括工事にするなど、早期復旧に向け計画的な発注が必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国、県等と連携し、円滑に事業進捗するよう努める。